

アトリエひでりこ & 見沼田んぼコレクト / 植木秀視

2013.11.17

見沼田んぼ 景域 スポットを コレクト

さいたま市の南北に広がる広大な田園には、自然、田畑、苗木の畑、神社、お寺、茅葺の古民家、長屋門、川に架かる橋、縄文遺跡、そして自然の風景などの魅力的スポットが数多く点在しています。

季節の折々にスケッチしたり写真を撮ったり(コレクト)と楽しんでいます。

11月のスポット

古民家・農家の佇まい—さいたま市大和田を歩く

11月の初め土呂駅から大和田地域を初めて散策しました。大和田町(おおわだ)は、現在さいたま市見沼区となり、かつては足立郡大和田村といい江戸時代を通して旗本伊達氏の支配下にあったところだそうです。

土呂駅～市民の森～鷲神社～第2産業道路～農家～五葉松のある家～大和田の駅前
この地域にも立派な農家があり、その佇まいに魅せられました。



見晴らし公園の近くにある古民家



見晴らし公園の風車



市民の森



威圧感のある鷲神社



わしやまはしの鷲？



島村家所蔵大和田村文書のある
古民家



素晴らしい防風用垣根
その奥に古民家



武家造り風の門



大和田の五葉松
戸山家の六代前の祖先が植えたものと言われているそうです。

大和田陣屋 さいたま市・見沼区

江戸初期に伊達房実がかつての居城だった伊達城址の近くに陣屋を構えたのがはじまりです。大和田村は岩槻街道が通る交通の要衝で、なおかつ広大な沼沢地であった見沼に築かれた堤防「八丁堤」を管理する奉行所の一つとして役割を果たしていたそうです。大和田陣屋は伊達城だったという異説があるそうです。同一の場所にあったのか、別の場所だったのかは古文書からも両方の説があって定かではないそうです。江戸中期になると伊達氏は陣屋払いをして江戸に移り住んでしまいました。その奥には、細沼家の立派な長屋門がありました。

伊達城 さいたま市・見沼区

築城された明確な時期は不明ですが、岩槻城の太田資正(道灌の曾孫)の家老・伊達房実の居城があったところで、岩槻城の支城として機能していました。北条氏康によって岩槻城が落城して資正が追われると、北条氏房(氏政の3男)が岩槻城に入りました。房実は氏房の重臣として仕えるようになりました。豊臣秀吉の小田原攻めでは、岩槻城は浅野長政によって落城しました。戦後、徳川家康の命令で房実は伊達城を廃城にして岩槻城を預かりました。徳川氏の旗本・高力清長が岩槻に入ると、房実は伊達城址の近くに大和田陣屋を築いて移り住みました。余談ですが、仙台藩の伊達氏とは全く関わりがないそうです。

松野氏館 さいたま市・見沼区

徳川家康が関東八州に転封したとき、浪人をしていた松野資信が旗本として御蔵に陣屋を置いたのがはじまりだそうです。松野氏は宇都宮頼綱の子・義業を祖とした名門で、松野助正(資信の父)は岩槻城の北条氏房(氏康の四男)の家臣でした。近くには鎌倉街道が通る交通の要衝だったそうで、館跡はそれにちなんで鎌倉公園と名づけられていました。あと、公園の造成工事に先立っての発掘で縄文時代から古墳時代の堅穴住居跡が12棟見つかったそうです。公園内には「松野氏館跡」と「鎌倉公園遺跡」の説明板が建ててありました。

上記3題は、「過去に訪れた城の一覧」のHPより